

NEWS RELEASE

2021年10月14日
株式会社リファインバースグループ

織研新聞に当社製品「REAMIDE」が掲載されました

2021年10月12日付「織研新聞」4面に、当社製品の再生ナイロン樹脂「REAMIDE」についての記事が掲載されたのでお知らせいたします。

当社は、循環型社会の形成に向けて、海洋汚染問題の原因の一つともいわれている廃漁網をリサイクルしたナイロン樹脂「REAMIDE」の生産量拡大、品質向上に引き続き取り組んでまいります。

※参考「織研プラス <https://senken.co.jp/>」

リファインバース **再生ナイロン「リアミド」**
繊維の量産開始

リサイクル事業のリファインバース（東京）は、再生ナイロン樹脂「リアミド」を使ったリサイクル繊維の量産を開始した。回収した廃棄漁網の中から繊維用途に適したものを選別し、リアミドが90%の長繊維を量産する。短繊維も完成間近で、反毛にするリサイクル綿などの素材などストリー性的のある物作りを「リサイ」の取り組みを進めている。

同社は漁網、エアバッグなどをマテリアルリサイクルして作るリアミド樹脂を、19年に立ち上げた一宮工場（愛知県）で製造している。成形・プラスチック用途が先行し、アパレル関連ではモリトと組んで副資材を開発しているほか、ジンスのサングラスのプロトタイプ用へ材料提供も今年から始めた。繊維用途も19年から開発を進め、材料やプロセスを検討、回収漁網の中でも、ナイロン6のモノフィラメントが使われ、砂などの異物混入が少ない網漁用に限定した。リサイクル工程は独自技術で、洗浄で異物を取り除き、裁断・溶解後に再度フィラメントを通して再生ペレットを製造する。

品質を安定させるため、リアミド90%・パージン10%を混ぜて紡糸する。糸は漁網の濃い緑がかつた色になるが、生地染めが可能。量産を開始したのは長繊維の21と24フィラメントから。太物でバッグ用などが先行、日本財団とのアップサイクルプロジェクトにも採用され、今秋から「豊岡製」で販売が開始された。

採用拡大へ向け、繊維商社やアパレルメーカーなどで評価を進めてもらっており、メンズ客などから好評。工業用途でも関心があるという。長繊維はプロセスをさらに進化させ、細ニール化させ方針。

一方、短繊維も開発中で、10〜20番手のスパン糸が量産前まで進行する。試作段階で反毛のリサイクルウール、リサイクルコットンと複合したテキストタイルが商社などで開発が進む。

さらに今後、30番手も視野に入る。このほか、人工芝の原料となるスプリットヤーンも試作に成功した。リアミド30%混入人工芝として高級ソールに位置するナイロンの環境対応品として訴求していく。

リアミド専用の一宮工場は、生産能力500トンに対し、現在100トンほど。原料調達にネックとなっており、エアバッグや漁網以外に、船舶の係留ロープの扱いを始めるなど調達先を広げている。

また、漁業の盛んな北海道のリサイクル企業と提携し、技術ノウハウを供与して現地のリアミド生産も来年から開始する。

「織研新聞」2021年10月12日付

【お問合せ】

- ・REAMIDE 製品に関するお問合せ：リファインバース(株) 高機能樹脂事業部
愛知県一宮市起字与三ヶ巻 37 TEL:0586-52-4460 FAX:0586-52-4461
- ・本リリースに関するお問合せ：(株)リファインバースグループ 経営企画部
東京都中央区日本橋人形町 3-10-1 TEL：03-5643-7890 FAX:03-5643-7891